

全国学力・学習状況調査考察

今年度行われた「全国学力・学習状況調査」(小学6年対象)の本校の結果に基づいた考察がまとまりましたのでお知らせいたします。国語・算数・理科の領域ごとに精査し、本校の課題を明らかにした上で、今後の改善の検討を行いました。今後、成果と課題や改善の方向を基に、家庭と連携を図りながら指導を充実させてまいります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

【児童質問紙調査の結果】

《生活面》

- 肯定的な回答(当てはまる、どちらかといえばあてはまる)の割合が全国とほぼ同程度のもの
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと考えている子の割合が全国とほぼ同程度。

△否定的な回答の割合が全国より高い、もしくは肯定的な回答の割合が全国より低いもの

- ・自分にはよいところがあると感じる子の割合が低い。
- ・将来の夢や目標をもっている子の割合が低い。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う子の割合が低い。



いじめはどんな理由でも許されないと考え、友達に対して思いやりをもって接する子が多くいます。また、自分にはよいところがあると感じる子や将来の夢や目標を具体的にもつ子の割合が低いことから、総合的な学習の時間や現地学習などで多くの人と出会いその生き方を知り、さらに多くの学校行事で目標設定や振り返りを行うことで自分自身の成長を感じさせる「キャリア教育」を手稲西中学校とも連携しより一層充実させていきます。

《学習面》

- 肯定的な回答(当てはまる、どちらかといえばあてはまる)の割合が全国とほぼ同程度のもの
- ・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することが出来ると思える子の割合が全国とほぼ同程度。
 - ・タブレットなどのICT機器で文章を作成出来ると思える子の割合が全国とほぼ同程度。

△否定的な回答の割合が全国より高い、もしくは肯定的な回答の割合が全国より低いもの

- ・学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることが出来ていると感じている子の割合が下回っている。



タブレットなどのICT機器を活用し、自分の思いや考えを多くの人に効果的に伝えることが出来ます。たくさん情報の中から必要なことを見抜き、まとめていく高い判断力があることがわかります。

一方で、全国の結果と比べ、教室の仲間と共に課題に対して対話し新しい考え方や価値を見いだそうとする学習に対する姿勢が低い傾向にあります。教室の仲間と協力しながら問いを深め順序立てて考えていく思考の大切さを感じることで、単に知識を暗記するだけではなく問題解決能力やコミュニケーション能力を育ていけるよう授業改善に取り組んでいきます。

【国語】

本校の概要

【内容】

□〔思考力、判断力、表現力等〕

・「話すこと・聞くこと」

◇全国平均を下回る正答率となっている。

・「書くこと」

◇全国平均を下回る正答率となっている。

・「読むこと」

◇全国平均とほぼ同程度となっている。

□〔知識及び技能〕

「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る正答率となっている。

「(2) 情報の扱い方に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る正答率となっている。

「(3) 我が国の言語文化に関する事項」

◇全国平均を下回る正答率となっている。

今回の調査における課題

●「話すこと・聞くこと」

話し手の意図を捉え、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

●「書くこと」

目的や相手に応じて文章全体の構成を考慮すること。

●「読むこと」

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付け、理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

●(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 送り仮名に気を付けて、漢字を文の中で正しく使うこと。

(2) 情報の扱い方に関する事項
情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解すること

(3) 我が国の言語文化に関する事項 読書が自分の考えを広げることに関与すること に気付くこと。

改善の方向

□目的を明確にして得た情報と自分の考えを比較しながら取材を行うことや、取材で得た知識や情報を分類したり関係付けたりしながら自分の考えをまとめていく学習活動の充実。

□読み手の知識や経験を具体的に想定し、それに応じて書き出しや構成を考えて書く学習活動の充実。

□目的に応じて、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりしながら、既存の知識や理解した内容と結び付けて自分の考えを形成させる学習活動の充実。

□漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるようにする学習活動の充実。

□資料と関係付けながら文章を読み取ったり、目的に応じて文章全体から必要な語や文を選び端的に説明したりする学習活動の充実。

□本などの中の言葉から自分を支える言葉を見付けたり、今までになかった考えを発見したりすることなどによって、読書の意義をより強く実感できる学習活動の充実。

【算数】

本校の概要

【領域】

「数と計算」

◇全国平均を下回る正答率となっている。

「図形」

◇全国平均を下回る正答率となっている。

「変化と関係」

◇全国平均を下回る正答率となっている。

「データの活用」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る回答率となっている。

今回の調査における課題

●「数と計算」

計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できること。

●「図形」

構成する要素に着目しながら図形を観察して的確に捉えること。

●「変化と関係」

伴って変わる二つの数量について、変化の特徴を読み取って知りたい数を求めたり、その求め方について、式や言葉で説明したりすること。

●「データの活用」

二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理すること。
示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できること。

改善の方向

□既習と関連付けながら、数と計算の意味や仕組みについて理解が深まる学習活動の充実。

□ものの形について観察したり、構成したりする活動を通して、基本的な図形についての理解が深まる学習活動の充実。

□伴って変わる二つの数量の関係について、変化の特徴を考察して規則性を見付けるとともに、見付けた規則性を基に、筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさを求める学習活動の充実。

□示されたグラフから、データの特徴を捉え考察したり、見いだしたことを表現したりする学習活動の充実。

□目的に応じてデータを集め、観点を決めて分類整理し、データの特徴や傾向を読み取る学習の充実。

【理科】

本校の概要

【領域】

「エネルギー」を柱とする領域

◇全国平均を下回る正答率となっている。

「粒子」を柱とする領域

◇全国平均とほぼ同程度となっている。

「生命」を柱とする領域

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る正答率となっている。

「地球」を柱とする領域

◇全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

●電気の回路の作り方や電流が作る磁力、乾電池のつなぎ方を的確に捉えること

●水の温まり方や蒸発、結露について理解すると共に、「水は温まると体積が増える」を根拠に海面水位の上昇の理由を表現すること

●発芽のための必要な条件や花のつくりや受粉についての知識を身に付けること

●赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果や問題に対するまとめを基に他の条件での結果を予想し表現すること。

改善の方向

□目に見えない「力」や「流れ」を実験を通して可視化し、理解を深める学習活動の充実。

□目に見えないほどの小さな粒（粒子）の存在を実験を通して理解し、物質の性質や規則性を学ぶ学習活動の充実

□単に暗記するだけでなく、観察や飼育を通して自分たちも自然の一部であることを実感するような学習活動の充実。

□身近な自然現象や壮大な宇宙の仕組みを「時間的な変化」や「空間的な広がり」といった視点で捉え実感する学習活動の充実。